



去

中修之下乙部中套

全五册由亭主人編

九七

南總里見八代傳第九輯

三卷之三卷

一畫工貞秀

三卷五丁

校元丁子屋平兵衛



特別
14
600
22



其の... 武太... 西門... 大...

傳... 戒... 作... 德... 精...

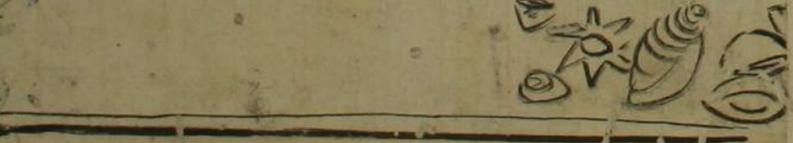


卷之二十	卷之二十	卷之二十	卷之二十
第二百五十四回	第二百五十五回	第二百五十六回	第二百五十七回
百中賣下倡兩將 風外風術接馬二	豐後得時請恩救 物真愁想入軍役	熊行託真留禪子 七野明察免死囚	上總民多義直再恩 缺扇侯仁心免軍令
龍田三侯獻生拘			



172下 上 中

卷之二十	卷之二十	卷之二十	卷之二十
第二百五十八回	第二百五十九回	第二百六十回	第二百六十一回
扇谷四郎謀道假使	助友忠誠代父志一 信隆機變借旗共	備士相批兩枝花 名將許容內應質	皇時逢異同商生一 義任臨床入先三男



本章總見八大傳第九輯下快之下乙續編中本頁



武
 のあつたはらひのしるし
 十四日
 武田左平太夫
 信濃守
 武田勝頼



今西様
 賢者
 貝子
 見守り
 人
 入道

文



三

Handwritten text in the left margin, possibly a chapter or section title.

窗 離



Vertical handwritten text in the left margin of the right page.



又此
 又此

又此



のうた
 又此

十

又此

今

影

果春三千餘騎、大乃見代軍箱、陣中由充十五百餘騎、大將南谷修理、
大正定七十餘騎、正定の旗長子式部、騎朝言一、餘騎、子式部、騎朝言、
餘騎、大石、石見、守、正定、軍、十二百騎、其子、陣、左、衛、尉、儀、兵、衛、尉、近、因、迫、
見、野、武、士、們、招、集、未、定、正、定、之際、所、者、深、慮、其、事、也、
五、十、百、騎、及、ひ、之、儀、十、餘、餘、騎、唱、る、内、長、尾、景、春、敗、北、陣、の、報、め、と、
以、子、細、言、と、中、途、に、渡、河、り、て、軍、五、十、百、の、數、を、も、又、野、儀、足、利、氏、初、大、石、重、
儀、大、將、を、仰、ん、と、ひ、言、の、儀、且、格、格、在、村、在、野、の、儀、柱、五、十、百、の、城、を、來、會、
去、り、の、定、正、顯、定、の、敗、成、氏、を、敬、む、も、た、れ、の、儀、の、儀、言、は、れ、る、舉、動、也、
と、取、成、氏、を、敬、む、か、つ、ま、と、思、へ、と、又、世、の、人、の、嘲、諷、の、有、數、乎、と、獨、
身、の、胸、を、押、へ、と、思、へ、と、存、の、程、二、十、二、月、三、日、に、至、り、定、正、顯、定、諸、將、三、
合、す、水、俣、陣、評、定、の、登、時、定、正、顯、定、の、儀、柴、浦、亦、安、房、上、總、一、書、一、

報

を

押

度、下、然、順、風、且、見、日、の、長、大、少、の、戰、艦、も、乘、り、一、時、安、房、推、度、の、
も、一、時、で、成、成、を、辱、し、見、日、の、長、一、時、の、儀、の、儀、言、は、れ、る、舉、動、也、
國、府、堂、太、中、川、行、德、陣、の、二、の、大、將、の、儀、下、總、を、男、一、上、總、を、列、に、我、
陣、と、水、と、大、兵、相、合、り、敵、前、後、由、り、境、を、取、り、鋒、を、倒、て、皆、降、ら、ん、と、
願、へ、と、多、説、什、座、を、勢、に、極、く、と、合、の、如、く、説、示、を、顯、定、の、頭、を、掉、々、其、
計、也、と、も、大、兵、江、を、渡、り、敵、も、亦、船、を、浮、り、逆、を、防、禦、へ、且、敵、陣、
具、邊、を、察、し、と、水、戰、を、熟、考、者、心、算、の、況、や、今、ハ、全、久、の、真、中、を、集、
計、を、折、ら、ん、と、年、の、漸、進、り、て、船、上、の、陣、に、自、由、を、も、と、思、ハ、其、處、と、難、
ん、れ、大、石、定、重、杖、と、と、而、侯、の、陣、論、も、是、を、理、を、論、は、と、江、を、渡、さ、
ん、と、一、時、に、亡、し、と、思、へ、と、一、時、に、亡、し、と、思、へ、と、一、時、に、亡、し、と、思、へ、
放、ち、敵、を、燒、く、と、思、へ、と、一、時、に、亡、し、と、思、へ、と、一、時、に、亡、し、と、思、へ、



頃者 劾

頃者... 其風... 四月二十日... 戦場... 助... 師... 風外道... 鬼神... 風... 谷山... 師... 風... 助...

頃者

頃者... 其師... 何... 師... 助... 頃者... 師... 助... 頃者... 師... 助... 頃者... 師... 助...

多

繁

深

野

布

此の千履は上りの居の...
 去れ一節の権定ありけり。河内...
 一個の東法師居り。形を瘦く。千歳松の...
 身は... 煙...
 師又我百中の...
 百中... 師...
 野...

指

定和睦... 七里見と七...
 風... 野...
 百中...
 風外道人...
 風...

其儘に... 内子吉日... 先口試... 正頼... 物... 樹...

御... 人... 今... 動... 心... 師... 感... 十... 都... 御...

正頭を討つるは、海舟無きものにて、...
...
正頭を討つるは、海舟無きものにて、...
...
正頭を討つるは、海舟無きものにて、...
...
正頭を討つるは、海舟無きものにて、...

特、初、師の徳を...
...
特、初、師の徳を...
...
特、初、師の徳を...
...
特、初、師の徳を...
...



五ノ山
山ノ頂
山ノ麓
山ノ谷
山ノ外
山ノ内
山ノ中
山ノ下
山ノ上
山ノ東
山ノ西
山ノ南
山ノ北



五ノ山
山ノ頂
山ノ麓
山ノ谷
山ノ外
山ノ内
山ノ中
山ノ下
山ノ上
山ノ東
山ノ西
山ノ南
山ノ北

二五
三六

是賢才が... 幸其... 隨所...
德而白石城介... 勝り... 勝り...
過... 勝り... 勝り...
勝り... 勝り... 勝り...
勝り... 勝り... 勝り...
勝り... 勝り... 勝り...
勝り... 勝り... 勝り...
勝り... 勝り... 勝り...
勝り... 勝り... 勝り...

十二月廿七日

規
演

第百五十五回
豊俊時を得て因縁之請ふ
和泉兵衛と軍使入る
是先... 大... 大... 大...
武... 武... 武...
見... 見... 見...
方... 方... 方...
人... 人... 人...
地... 地... 地...
遇... 遇... 遇...

聲

多岐の成成領は其の理... 上心は八支鳥の海... 野の助早其聲の... 戰場を流む者... とも言ふに福福と... 才の誇らぬ萬一... 其れを情地の... 海に首指く... 大將軍は... 百五十名は... 枝は...

固固

情地は那地を運... 以て其の... 助助は... 自ら... 其れも... 西島... 命... 毛... 其れ... 運... あり...

是非を明し、刑罰を自負し、恩赦を願ふ。情状を以て、罪を減じ、刑を免る。昨日、信乃道平、
 刑に服せしむ。徳澤、其の罪を減じ、刑を免る。昨日、信乃道平、刑に服せしむ。徳澤、其の罪を減じ、
 刑を免る。昨日、信乃道平、刑に服せしむ。徳澤、其の罪を減じ、刑を免る。昨日、信乃道平、刑に服せしむ。
 徳澤、其の罪を減じ、刑を免る。昨日、信乃道平、刑に服せしむ。徳澤、其の罪を減じ、刑を免る。昨日、
 信乃道平、刑に服せしむ。徳澤、其の罪を減じ、刑を免る。昨日、信乃道平、刑に服せしむ。徳澤、其の罪を減じ、
 刑を免る。昨日、信乃道平、刑に服せしむ。徳澤、其の罪を減じ、刑を免る。昨日、信乃道平、刑に服せしむ。

罪重き人、固く罪を認む。其の罪を減じ、刑を免る。昨日、信乃道平、刑に服せしむ。徳澤、其の罪を減じ、
 刑を免る。昨日、信乃道平、刑に服せしむ。徳澤、其の罪を減じ、刑を免る。昨日、信乃道平、刑に服せしむ。
 徳澤、其の罪を減じ、刑を免る。昨日、信乃道平、刑に服せしむ。徳澤、其の罪を減じ、刑を免る。昨日、
 信乃道平、刑に服せしむ。徳澤、其の罪を減じ、刑を免る。昨日、信乃道平、刑に服せしむ。徳澤、其の罪を減じ、
 刑を免る。昨日、信乃道平、刑に服せしむ。徳澤、其の罪を減じ、刑を免る。昨日、信乃道平、刑に服せしむ。



是れを
野

も、是れをの、
兵六、
計を、
野、
明日、

詭
思
實
後

葉

屋、
計、
野、
明日、

天保九年己亥年
夏四月十五日籍了

著作堂子集

筆

福硯士壽

大吉

和

市

同角端十張自評習日為傳自評餘論
同秋八月七日亦不異